



Weekly Report



いい顔でロータリーを楽しもう

夢をかたちに

佐世保北ロータリークラブ 2008～2009年度 RI 会長 / 李 東建 地区ガバナー / 鈴木泰彦

会長/鳥越敏博 幹事/緒方信行 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトリアホール（毎週月曜日）
創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本 日】会員数47名 出席 29名 欠 席 4名 出席免除会員出席 11名 ビジター 1名 出席率 90.91%
【前々回】会員数45名 出席 26名 メークアップ 4名 出席規定除外 14名 修正出席率 97.62%

《会長挨拶》

鳥越敏博 会長



昨日、IM御参加の14名の皆さま、長時間お疲れさまでした。

鈴木ガバナーの話の中で不景気なときこそ自己研鑽しロータリーの力をみせなければなら

ない、そして地域社会での指導者をつくらなければいけないのではないのでしょうか。

米山に1億円を寄付した人もいらっしゃるのとことで米山奨学生の話もありましたが、日本にきて米山をもらってない時は夜も寝ないほど勉強したとの話もあり、そのような意味でも指導者育成に活用されてると感じました。

元麒麟児の北陣親方さんの話もおもしろく目的をもって頑張れば効果が必ず現れてくるとのことでした。

本日は非常に嬉しい報告があります。待望の新入会員お2人が本日よりお入りになりました。後ほど御紹介等があると思いますがお2人におかれましては、今後頑張ってもらいたいと思っております。

.....

《幹事報告》 緒方信行幹事

1. 例会変更

・ハウステンボス佐世保RC

2月17日（火）12：30→18：30～

ホテルヨーロッパ 吉翠亭

Mr. & Mrs. 同伴例会（旧夫人同伴例会・名称変更）

2. 来 信

・ロータリーの友事務所 ロータリーの友 2月号

・財）ロータリー米山記念奨学会

確定申告用領収証送付の件

1. 特別寄付金免税申告用領収証
2. リーフレット

・ガバナー事務所 ガバナー月信 2月号

・ガバナーエレクト事務所

高城ガバナーエレクトより

国際協議会サンディエゴから挨拶状

・大村北RC（ホストクラブ）

第30回 RYLA開催のご案内

日 時：4月11日（土）～12日（日）

受付期間：4月11日（土）10：30～11：30

受付場所：深沢儀太夫記念館（大村市東野岳町1097）

会 場：大村市野岳湖周辺及び長崎空港観光ホテル

（大村市東三城町6-1 TEL0957-53-6121）

及び大村商工会議所（大村市東三城町6-1）

登録締切：3月10日（火）

・太良RC

例会場の太良ロータリークラブ会館移転のお知らせ

旧）佐賀県藤津郡太良町大字多良1820-1

新）佐賀県藤津郡太良町大字糸岐2518-7

※事務局住所は変更ありません

・東京RC会員 熊平雅人 様

「抜萃のつゞり その六十八」寄贈

（皆さんのセルフBOXへ入れております）

・佐世保工業高等専門学校

第4回佐世保・中国国際交流フォーラム校長主催レセプションの開催について

（緒方幹事・栈会員・永田会員）

・和光 ロータリーカタログ

《来訪ロータリアン》

・佐世保東RC 小松屋 芳雄 君

《新入会員紹介》



氏 名：蒲池芳明（かまち よしあき）

入 会 日：2009年 2月2日

生年月日：昭和28年12月1日

職業分類：調剤薬局

勤 務 先：(有)ケイ・エム・カンパニー

役 職：代表取締役

氏 名：牧野博一（まきの ひろかず）

入 会 日：2009年 2月 2日

生年月日：昭和27年 4月10日

職業分類：室内装飾

勤 務 先：(有) マキノ

役 職：代表取締役

.....

《今月の結婚祝い》

S. 39. 2. 23 宮地正博・廣子 夫妻

《今月の誕生祝い》

S. 16. 2. 11 都甲泰臣 君 S. 24. 2. 9 中山 誠 君

《委員会報告》

宮原明夫ロータリー情報委員

2月25日（水）にパスト会長会議を開催します。今回は宮崎会長エレクトの激励会もかねていますので、多くのパスト会長のご出席をお願いします。

宮原明夫国際奉仕委員長

2月4日（水）14:00～17:30、アルカス佐世保にて、第4回佐世保中国国際交流フォーラムが開催されます。当日は成果発表として廈門理工学院の学生、陳小経さん（栈会員宅にホームステイ）も来日します。多くの会員の方のご参加をお願いします。

.....

《ゲスト卓話》

米山奨学生 シャナハーン・ケネディ君

「スリランカの概要」

スリランカ民主社会主義共和国

公用語：シンハリ語、タミル語、英語

首都：スリジャヤワルダナプラコッテ（コロンボ）

大統領：M. ラジャパクシヤ

面積：6万平方KM 人口：19, 905, 165人

通貨：スリランカルピー

民族：住民の74%はシンハリ人、18%はタミル人、7%が

ムーア人、1%がバーガー人(Burghers)

宗教：仏教70%、ヒンドゥー教10%、イスラム教8.5%、

キリスト教11.3%

気温

・年平均気温：26℃ヌワラエリア（標高約1890m）では年平均 気温16℃と一年中常春のような気候である

・平均寿命：男性72歳 女性79歳

・識字率の標準：95.8%



「スリランカの歴史」

- ・紀元前5世紀、シンハラ人が北インドから移住して王国をつくったのである。
- ・紀元前3世紀、アショーカ王の王子マヒンダが仏教を伝えて以後、スリランカは上座部仏教（小乗仏教）の中心地として、現在までその信仰を守ってきたのである。
- ・紀元前2世紀以来、ヒンドゥー教徒タミル人の侵攻に対し、シンハラ人は仏教を守り、文化を育てた。首都は、11世紀後半から中部のポロンナルワにおかれたのである。
- ・5世紀にアヌダダブラを治めていた父王を殺した王子カッサパ1世がシーギリアロックの岩山の頂に宮殿を築いたのである。
- ・13世紀からタミル人の侵入が激しくなりました。
- ・15世紀初頭に鄭和が来島し、の朝貢国となりました。1505年、ポルトガル人がコロンボに商館を建設し植民地化。
- ・17世紀、ポルトガルに代わりオランダが植民地化。
- ・18世紀末からイギリスが植民地化を始める。
- ・1815年のウィーン会議でオランダからイギリスへの譲渡が正式決定
- ・1815年のウィーン会議でオランダからイギリスへの譲渡が正式決定

「スリランカ仏教」

- ・仏教はインドからセイロン島へ、紀元前3世紀に上座部仏教が伝来した。 仏教が開かれたインドの地では、様々な歴史的経緯を得て、仏教の連続性が途絶えてしまったが、スリランカにおいては伝来した形にて、伝承が続いている。 また、東南アジアへもスリランカから上座部仏教が伝えられている。
- ・スリランカの国の北部と東部を除いた国土の大半で仏教徒が多い。北部や東部に多いヒンドゥー教徒のタミル人と政治的・武力的に対立した状況が続いている。

「スリランカのお祭り」

- ・5月は、仏教の最大のお祭り、ヴェサック祭り。
お釈迦様の生まれた日、悟りをひらいた日、亡くなった日、この3日を表すお祭りののである。
このお祭りでは、街中きれいなイルミネーションで飾られ、仏教のいろいろな物語の芝居や、パレードなどが行なわれています。パレードでは、きれいな飾りをつけた象がたくさん歩いて来るのである。街のイルミネーションだけでなく、家にもイルミネーションが飾りつけられます。これらのイルミネーションは3週間ぐらい続くのである。
- ・6月、7月も仏教のお祭りがあります。
6月は、インドからスリランカへ仏教が渡った日を祝うものである。
お寺にお参りに行き、各家にもイルミネーションをつけられます。7月は、インドからスリランカへ菩提樹をもって来た日を祝うものです。こちらもお寺にお参りに行きます。
その他にスリランカでは、満月の日（ポヤデー）は神聖な日とされていて、学校や多くの会社は休みになるのである！

「スリランカの食べ物」

- ・スリランカは日本と同じく主食は米であります。
スリランカは他民族国家であるから食文化もことなるのである。シンハラ人の大多数が信仰する仏教では食物に関するタブーはそれほど多くは存在しません。しかし実際にはほとんどのスリランカ人仏教徒は仏教本来の教えだけではなく、土着の精霊信仰、迷信、ヒンズー教の影響も強く受けていますので大抵食べ物、特に食肉に関する禁忌事項を沢山持っています。牛肉を食べない人は多いです。豚肉を食べない人も多いです。
食べないだけではなく、それらの肉を触る事、家庭内に持ちこむ事自体を厭う人もいます。

「スリランカのカレー」

- ・スリランカでカレーを食べたという記録を日本人で初めて残したのは夏目漱石です。それは1900年の事。コロンボのホテルで食べたというふうに日記に書き残されています。漱石は「名物のライスカレーを食べた」と記していますから、その当時からスリランカはカレーで有名だったかもしれないのです。でもスリランカのカレーは辛く、スパイスをたくさん使っているのである。普通の人々の普通の食べ物は日本でいうカレーとはだいぶイメージが違うのである。確かに飛び切りに辛い料理もありますが日本人に向くあっさりとした料理がスリランカには多くて、野菜のカレーは得てして辛いものもあれば、スパイスも控え目もあるのです。

.....

《IM報告》

場所：唐津ロイヤルホテル2階大広間
R12740地区 第4・5・6グループ
2008～2009年度 INTARCITY MEETING

第一部記念講演『わが相撲人生 継続こそ力なり』 日本相撲協会・元関脇・麒麟児 北陣和春氏

IM報告者 是永典彦 会員

講演の冒頭において、まず北陣氏はこの度の若麒麟の大麻騒動についての説明及びお詫びをされた。

前回の大麻騒動を受け相撲協会は理事長を交代し、襟を正して心機一転やり直そうと協会関係者700名以上が終結して研修会を行なった矢先だけに非常にショックを受けて心境も語られました。

講演の演目であるご自身の相撲人生については、入門までの経緯や、入門時のエピソード等、面白く語って頂きました。ご両親とのやり取りの内容では目頭が熱くなるようなお話もありました。

特に、入門の再入門に母親から送られた手鏡と現金5千円は未だにお守りとして持っているとのことでした。（手鏡はどんなつらい時でも親方や兄弟子から呼ばれたらニコリとした笑顔を造ってから、はい、お呼びでしようか・・・とできるようにしなさいとのことでした）

最後の締めくくりの言葉としては『何事も諦めずに頑張る努力すれば必ず夢は叶う』でした。

第二部 「米山奨学生として」

チャン・ティ・フェ (Tran Thi Hue) さん (24歳)

IM報告者 ニノ宮 健 会員

生年月日：1984. 12. 26生

国 籍：ベトナム

学 歴：1999. 9. ～2002. 5. NGUYEN TRAI高校
2003. 5. ～2003. 9. DONG DO日本語センター
2003. 10. ～2005. 3. 久留米ゼミナール
日本語学科
2005. 4. ～長崎国際大学入学
長崎国際大学人間社会学部国際観光学科
在籍中

ハウステンボス佐世保RCでお世話になっている、米山奨学金のベトナム国からの留学生です。ベトナム人は近くには余り見掛けないうで少ないようです。

私の国では、親子兄弟6人家族です。ベトナム人として、私が日本に関心を抱いたのは、日本に関心の有る兄と姉の存在でした。兄は自分に「日本語をしっかりと勉強して」という事を常日頃言われていましたし、姉は自分より半年前に長崎市に留学した事です。金銭的な事も有り、姉とは近いけど余り会えないです。

日本語の特に文字、漢字、カタカナ、ひらがなに興味を抱きました。2003年に久留米に来て、4ヶ月間、日本語を学んだのは、挨拶程度であり、一般社会や、大学に通用する実用レベルでは無く、更に勉強しなくては行けませんでした。また、当初は日本料理は甘く感じ、暫く口に合わなかったが、日本の米は好きで、美味しいと思います。生活の方は、当初、自費留学であったので、資金調達は、3年生の時に米山奨学生になるまでは、殆どアルバイトで賄ったし、寝る時間は3～4時間でしたし、勉強に影響が有る毎日でした。米山奨学金を受けてからは、しっかりと勉強出来るようになりロータリークラブの皆様にご挨拶しています。

先日、ゼミの田淵先生に大島造船所に案内して頂きま

(私の感想) 私は入会以来今月の25日で24年目を迎えます。当クラブ「米山友の会」発足以来、僅かながら貢献させて頂いています。このように、学問への意欲の有る多くの留学生達の為に、お役にたてる事は、米山奨学金ならではの大変に嬉しい事だと感激しました。

蒲池芳明さんと牧野博一さんの入会を心より歓迎申し上げます。昨日のIMにご参加の皆様、大変お疲れ様でした。北陣親方の話は、大変感激いたしました。本日の卓話者、米山奨学生のシャナハーン・ケネディ君の話を楽しみに拝聴致します。

牧野さん、蒲池さんの入会を心より歓迎申し上げます。
また、本日の卓話者ケネディ君ありがとう御座います。

クラブ会報委員会 委員長 / 永田武義 委員 / 小西宗十 須田 昇 西川正美 中島閨二 (記事担当者 須田 昇)